

～家計に身近なファンドでありたい～

浪花おふくろファンド

追加型投信／内外／株式

月次レポート
(販売用資料)
2012年11月30日基準

ファンド概況

基準価額	8,738円	純資産総額	701百万円
設定日	2008年4月8日		
信託期間	無期限		
決算日	毎年3月3日		

期間別騰落率(%)

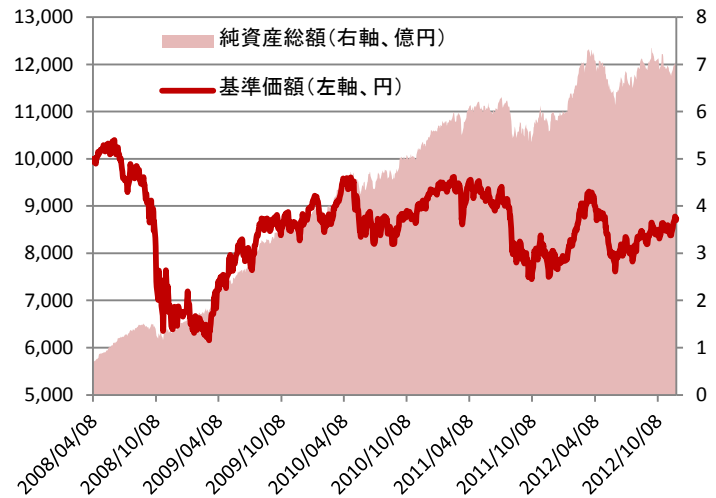
1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来
3.12	4.96	9.14	12.33	5.61	-12.62

分配金(円)

直近3期を表示

2期 ('10/3/3)	3期 ('11/3/3)	4期 ('12/3/3)	累計
0	0	0	0

基準価額と純資産総額の推移



運用コメント

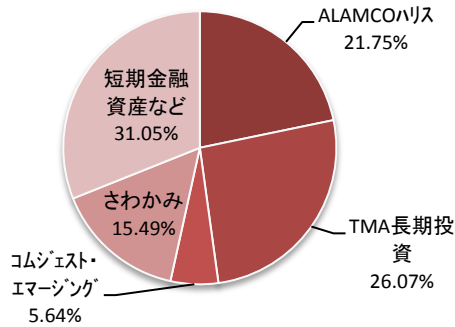
11月の世界の株式市場は、前半の米国大統領選挙や中国共産党総書記の交代等を見極めたいとの動きが続いたものの、ほぼ予想通りの結果に安堵した展開となりました。また、日本では自民党の安部総裁の日銀へのインフレ目標政策発言を市場が好感し日経平均株価は1ヶ月間で5.8%上昇しました。為替市場でもドル、ユーロ共に対円で約3%強の円安傾向となった事で、MSCIワールド指数は、円換算で4%強上昇しました。

毎年、年末近くになると、来年の経済予測が発表されますが、OECD(経済協力開発機構)では、日米欧の2013年の成長率はすべて下方修正している事が気になります。日本は1.5%⇒0.7%へ引下げられました。主な要因としては、海外経済の減速で年後半の輸出や生産が落ち込んでいる上に、復興需要の縮小などで前回予測よりもかなり厳しい見方となっています。米国も同様に2.6%⇒2.0%へ引き下げられています。主な要因としては、失業率7.8%の高止まりで改善は難しそうだと見られています。ユーロ圏では、0.9%⇒-0.1%となり2年連続でマイナス成長になると予測されています。一方、中国の成長率は2012年は7.5%と過去10年で最低ですが、2013年には内需が堅調で8.5%まで回復する予想です。結果的には、来年も日米欧の低成長に対して中国の高成長が維持されるとの見通しですが、中国の経済も先進国からの投資がピークを過ぎていることや沿海部と内陸部との格差問題も考えますと内需へのシフトは簡単ではありません。現在、唯一の明るい材料は、東南アジアの経済で、12月1日付の日経新聞の報道によると、主要6カ国の10月の自動車の販売台数は前年同月比で58%増加の33万台と通年では350万台に迫る勢いで、日本車のシェアが8割と高い東南アジア市場が、中国市場の販売急減を補う形となっています。

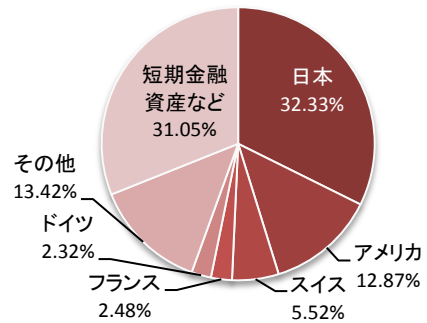
11月のおふくろファンドの運用結果に関しましては、日本株の急上昇で輸出関連企業の組入れが高いさわみファンドやTMAへの組入れが功を奏して+3.12%の上昇となりました。ファンドの組入れ状況は、ひき続き欧米の株価が高値圏にあることから、外国株式に投資するファンドは組入れ比率を若干低下させました。今後は先進国中心にベンチャーや中小型企業へ投資しているファンドへの組入れを検討しています。12月からは日本株式の中小型の優良企業に投資している「ひふみ投信」への組入れを開始する予定です。

ポートフォリオの状況

資産構成比率



国別投資比率



浪花おふくろファンド純資産総額に対する上位組入れ銘柄・比率

(組入れ銘柄数: 271銘柄)

順位	銘柄名	業種	組入れ比率	組入れファンド名
1	キーエンス	ファクトリーオートメーション用センサの製造	1.28%	TMA長期投資
2	CREDIT SUISSE GROUP AG-REG	スイスを代表する世界的総合金融グループ	1.04%	ALAMCOハリス
3	INTEL CORP	世界第1位の半導体メーカー	0.98%	ALAMCOハリス
4	ミスミグループ本社	機械加工製品の企画・販売	0.91%	TMA長期投資
5	NOVOZYMES A/S-B SHARES	産業用酵素製品を供給(デンマーク)	0.91%	TMA長期投資
6	ダイキン工業	空調事業でシェア世界一	0.89%	TMA長期投資
7	ファナック	工作機械装置で世界首位	0.83%	TMA長期投資
8	エア・ウォーター	総合ガス企業	0.83%	TMA長期投資
9	STARWOOD HOTEL & RESORTS	世界展開するホテルチェーン『シェラトン』など	0.83%	ALAMCOハリス
10	キヤノン	映像・事務機器、ステッパーなどを製造	0.81%	TMA長期投資
11	本田技研工業	二輪・四輪・汎用機を製造する世界的メーカー	0.81%	TMA長期投資
12	デンソー	トヨタグループに属する自動車部品メーカー	0.81%	TMA長期投資
13	BNP PARIBAS	フランスを代表する世界的金融グループ	0.80%	ALAMCOハリス
14	CARNIVAL CORP	世界最大のクルーズ客船運航会社	0.78%	ALAMCOハリス
15	リンナイ	家庭用ガスコンロ、給湯器などを製造・開発	0.78%	TMA長期投資
16	DAIMLER AG-REG	ドイツの自動車メーカー	0.76%	ALAMCOハリス
17	トヨタ自動車	世界最大級の自動車メーカー	0.74%	さわかみ
18	WELLS FARGO & CO	アメリカ西部を地盤とするリテール銀行	0.74%	ALAMCOハリス
19	KUEHNE & NAGEL INTL AG-REG	スイスの総合物流企業	0.74%	ALAMCOハリス
20	PPR	『GUCCI』などを傘下に持つアパレルグループ	0.74%	ALAMCOハリス

ファンドの特色

①株式投資によって長期的に高い運用成果をめざします

株式は、数ある金融商品の中で最も高い投資成果を上げてきた金融商品の一つです。

株価が上昇してきたのは、主に企業の利益が時間をかけて拡大してきたからです。

つまり、株価が上がってきた企業とは、社会にとって必要な製品・サービスを提供し続けてきた企業である、とも言えます。

長期的には株価は上昇すると予想していますので、株式への投資比率は高めを維持するのが基本です。景気が過熱したり、投資家心理が強気に傾き過ぎたりと、株価の割高感が強まった場合は、その後の株価下落に備えて投資比率を低くし、現金の割合を増やす調整を行います。

②広く世界に投資します

長期的な株価上昇は、企業業績の拡大に沿って進むと考えています。業績が拡大を続ける企業は、もちろん日本にもありますが、世界に数多く存在しています。日本に限らず優れた企業を世界中に広く求めて投資することは、ファンドが成長するチャンスを増やしていくことにつながると考えています。

世界を視野に入れて投資すれば、ひとつの国や地域の株価変動に影響されすぎない、より安定した投資成果を期待することができると考えています。

③「ファンド・オブ・ファンズ」を採用

長期的な株価上昇には、企業利益に継続的な増加が必要だとの観点から、おふくろファンドでは、世界中に存在する優れた企業を選別して投資することを重視しています。

そのためには、世界の株式に単に分散投資するのではなく、優れた企業への選別投資を実行しているファンドに投資することが、最も効果的かつ効率的であると考え、ファンド・オブ・ファンズという仕組みを採用しました。

ファンドにかかわるリスク

当ファンドは、値動きのある国内外の株式等に投資する投資信託証券に投資しますので、基準価額はその影響を受け変動します。

投資信託は預貯金と異なり、投資元本が保証されているものではありません。投資による利益および損失は、すべて受益者(投資者)の皆様に帰属します。

基準価額の主な変動要因としては、価格変動リスク、信用リスク、流動性リスク、為替変動リスク、カントリーリスク等があります。リスクについての詳細は投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

<お申込みの際は、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください>

ファンドにかかわる費用

購入・換金手数料	ありません
信託財産留保額	ありません
運用管理費用 (信託報酬)	年率0.945%(税抜き0.9%) 組入れ投資信託証券も含めた実質的な負担 年率1.65±0.25%(概算)
その他費用・ 手数料	信託財産に関する租税、投資対象とする投資信託証券の売買に発生する売買委託手数料及びその手数料に対する消費税相当額等の費用、外貨建資産の保管等に要する費用は、お客さまの負担として、信託財産中から実費を負担します。

業務管理部からのお知らせ

【目論見書更新のお知らせ】

11月下旬に投資信託説明書(交付目論見書)を改訂いたしました。今回は、基準価額の推移、運用実績の更新など軽微なものとなりますので、目論見書の不交付に同意していないお客様のみにお送りしています。今後、目論見書の交付が不要なお客様は、不交付の同意書にてお手続きをお願いします。また、目論見書はご請求いただければお送りいたします。ホームページでもご確認いただけますので、こちらから(<http://728ofukuro.jp/ofukuro/plan.html>)ご覧下さい。

【年末年始の営業について】

	12/28(金)	12/29(土)～1/3(木)	1/4(金)
通常営業:9:00～17:00 売買注文受付:9:00～15:00		休業日	通常営業:9:00～17:00 売買注文受付:9:00～15:00

【特定口座の源泉徴収区分の変更について】

特定口座をご利用いただいているお客様の、2013年適用分源泉徴収区分の変更を受付しております。「源泉徴収あり・なし」の変更をご希望のお客様は、お電話にて「特定口座源泉徴収選択届出書」をご請求くださいますようお願い致します。

【特定口座の継続手続きについて】

特定口座制度では、法令に基づいて特定口座の残高がなくなった日から2年を経過したその年の12月31日までにご利用のなかった特定口座は、その翌年1月1日に特定口座廃止届出書の提出があったものとみなされ、当該特定口座を廃止することになっています。引き続き特定口座の利用をご希望されるお客様は、お電話にて「特定口座取引継続届出書」をご請求ください。なお、書類のご提出を含め、弊社での手続きが年内に完了するようお願い致します。

【毎月つみたてサービスをご利用のお客様へ】

新規申込・引落口座の変更および購入金額の変更をご希望の場合には、それぞれ締切日がございます。

引落開始月	新規申込・引落口座 変更締切日	引落金額変更・ 中止締切日	引落日	約定日
平成25年1月	受付終了	12月18(火)	平成25年1月7日(月)	平成25年1月18日(金)
平成25年2月	12月26日(水)	平成25年1月23日(水)	平成25年2月5日(火)	平成25年2月18日(月)

業務管理部 東京03-3222-1220／大阪06-4790-6200 平日9時～17時

当資料のご利用にあたっての注意事項

■当資料はクローバー・アセットマネジメント株式会社が作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)等をお渡ししますので必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。■投資信託は、値動きのある有価証券等(外貨建資産に投資する場合は、為替変動リスクもあります)に投資いたしますので、基準価額は変動します。したがって、投資者の皆様は投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。■運用による損益は、すべて投資者の皆様へ帰属します。■当資料に記載された過去の実績は、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。■当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。■当資料中に示された意見等は、作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更されることがあります。■投資信託は預金等ではなく元本および利回りの保証はありません。■投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。■登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。

今後のセミナーのご案内

12月15日(土) 15:00~17:00	『長期投資で未来を語ろう』勉強会 宮内 鋭 (当社代表)	【会場】 当社 会議室 東京都千代田区三番町 5-37 三番町葵ビル 【費用】 無料 【定員】 15名
12月23日(日) 14:00~16:00	『未来を拓く長期投資の力』勉強会 澤上 篤人氏 (さわかみ投信会長) 宮内 鋭 (当社代表)	【会場】 札幌市産業センター ルームC 札幌市白石区東札幌5条 1-1-1 『東札幌』駅 徒歩7分 【費用】 無料 【定員】 40名
2013年 1月12日(土) 10:00~12:00	第62回 『なにわで咲かそう!長期投資の輪!!』 宮内鋭 (当社代表)	【会場】 大阪府中央公会堂 第4会議室 大阪市北区中之島 1-1-27 『淀屋橋』駅 徒歩4分 【費用】 無料 【定員】 30名

当社が運用する各ファンドの運用方針や、みなさまがお持ちの素朴な疑問など、お気軽にご質問ください。
お待ちしております。

【お申込み・お問合せ】 TEL 03-3222-1220 または gyoumu@clover-am.co.jp

クローバー「はんぶん」コラム

◆選挙戦の真っ最中です。今回の選挙は現行制度になってから最多の政党数・立候補者数とのこと。マニフェストの実現性が話題になりますが、候補者がどういう方向を見ているのかを確かめるためにマニフェストは必要です。

◆運用ビジネスに携わる者としては経済政策、とりわけ証券税制関連に興味を持つわけですが、相も変わらず小手先かつ複雑な制度で証券投資は根付かないですし、株価も上がりません。「これならリスクを取ってでも運用したほうがよさそうだ」と思えるような税制にしてほしいものです。例えば… ①税率は7%恒久化 ②7%すべて地方税 ③「積み立て投資」控除（保険のように）などです。まあ、現実はこちらとは逆行しているので実現はしないでしょうが、それでも将来のために運用を止めるわけにはいきません。

◆先日ニュースを見ていたら野田総理がこう言っていました。「安倍さんが言っている金融緩和は恐ろしい。そんなことして喜ぶのは株と不動産を持っている人だけだ」と。ということは！？当社（別に当社だけとは限りませんが）のファンドをお持ちの皆さまは安倍さんが総理になったほうが良いということでしょうか！？

◆金融緩和については、「もっと大胆に緩和するべきだ」という積極派と「過度な緩和は制御不能のインフレを招く」という消極派の両論がありますが、両者とも景気を上向かせたいという考えは一致するはず。日本の個人金融資産は1,500兆円ありますが肝心なのはお金の「動き方」。お金はよく「血液」に例えられますが、これは「止まることなく、隅々まで常に流れていなければならない」という意味と、もうひとつ、「表に出てはいけない」という意味もあると筆者は考えています。血が表に出るということは出血しているということですから、適切な止血の処置をしなければいけません。お金が表に出るということは、それを使う人間の心理が「まずお金」で「モラルやマナー、期待や信頼」という大切な意識・感情が置き去りにされている状況を言うのだらうと考えます。実体を飛び越してしまうという意味では「バブル」にも通じます。

◆現状の日本経済はバブルやインフレ状態ではありませんが、いつ方向転換するかはわかりません。いつ方向転換してもいいように準備しておくこと、人間社会の将来を見通す洞察力と先見性を磨きたいと思います。

2012年12月10日 (H)